

復興に駆ける！

第 17 号
平成 25 年 10 月 8 日 発行
岩手県立生涯学習推進
センター

ボランティアグループ チーム北リアス 現地事務所長 貫牛 利一(かんぎゅう としかず)さん



事務所長の貫牛さん

「チーム北リアス」は、北リアス地域の復興を長期的に支援しようと、八戸高等専門学校、八戸工業大学、弘前大学、京都大学、大阪大学、関西学院大学、首都大学東京、NPO団体等の有志が立ち上げたボランティアグループである。

震災前から若者と地域住民が交流できるような取り組みを何かできないかと考えていた貫牛さんと、復興支援活動を5年から10年の長期的なスパンで行うためには現地に拠点が必要だ

と考えていた大阪大学の渥美公秀教授の思惑が一致し、貫牛さんが土地を提供する形で、野田村に事務所を開設する運びとなった。敷地には、事務所、ボランティアスタッフの宿泊スペース、大阪大学のサテライトが各々1棟あり、サテライト内には、大学とテレビ会議ができるシステムを完備している。現在活動している学生ボランティアの所属がバラバラなため、入れ替わりで活動を行っている。主に野田村立野田中学校にある野田仮設団地へ戸別訪問を行い、住民との交流を深めている。時には、足湯マッサージや、流し素麺のイベントを行ったり、ワークショップを開催し、住民と共に新しい街並みについて考える独自の復興計画作りも行った。

貫牛さんは、現在NPO法人久慈広域観光協議会で観光コーディネーターを務めている。野田村青年会時代には、「欽ちゃんの仮装大賞」に参加することを決め、毎日遅くまでメンバー達と準備し、見事優勝を勝ち取った。後日放映された番組を村の人たちと一緒に見る場を設け、優勝の喜びを分かち合い、村全体が活気づいたという経験を持っている。また、今では野田村観光の主力となっている「のだの塩」づくりを復活させ、塩の道イベントを開催するなど、野田村を盛り上げるために、様々な活動を仕掛けてきた中心人物である。そんな貫牛さんの野田村を愛する思いは人一倍強い。だからこそ、野田村を支援してくれるボランティアたちに親身になって接する。今後については、「これからもボランティアと力を合わせながら、これから野田村が本質的に立ち上がっていくためのバックアップをしていきたい」と熱く語った。

連絡先

ボランティアグループ チーム北リアス
TEL 0194-78-3955
Email: northrias@gmail.com